

臨床研修センターだより



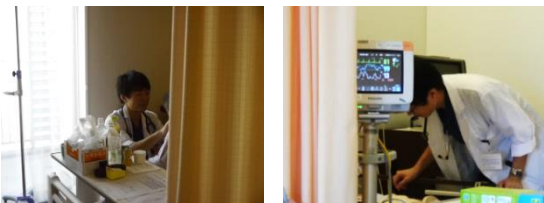
Vol.20 2015.10.31

～初期研修医 1年次の総合診療科研修～

当院の初期研修医は研修が始まる前に、4つの研修コースから1つを自分自身で選択します。4つのうち、総合診療科を1年次の間に3か月ローテートする「標準コースB」は毎年人気があり、今年度の1年次は18名中12名が選択しています。今回は、10月に総合診療科をローテート中の1年次 建部先生・堀内先生・嶋田先生から、総合診療科での研修について紹介してもらいます。

～診察～

総合診療科には、様々な疾患の患者が入院しており、問診や身体診察などを通じて、幅広い知識を日々学ぶことができます。 (堀内大右)



～ミーティング・カンファレンス～

総合診療科はカンファレンスが多い科です。全体でのミーティング、チームカンファレンス、新入院患者カンファレンス、看護師・ソーシャルワーカーとのカンファレンスなど多岐に渡ります。カンファレンスでは、毎回担当患者のプレゼンテーションを行うので、プレゼンテーション力を磨くことができます。チームで治療方針を決定するため、初期研修医も積極的に意見を言え、方針決定に参加することができます。また、上級医の先生方がどのようにアセスメントしているのかを知ることができ、非常に勉強になります。(建部将夫)



～抄読会・コアレクチャー～

週に一度全員が集まって抄読会とコアレクチャーが行われます。抄読会は教科書を読んでお互いに理解を深める会で、コアレクチャーは研修医や学生向けに、上級医がテーマを決めてレクチャーをして下さいます。

(建部将夫)



～回診～

総合診療科は、毎朝入院患者の回診を行います。上級医の先生方と、日々診察を行うことにより、担当患者のささいな変化や自分の考え、疑問点について、逐一フィードバックをもらえるので、多くの学びを得ることができています。(堀内大右)

～医学生の実習受け入れ～

大学5年生の時に、総合診療科で3週間実習をさせて頂きました。当時も今と変わらず教育的な雰囲気、多様な疾患の知識やプレゼンテーションの方法等、非常に多くのことを学ぶことができました。今回実習に来ている大学の後輩である学生さん達にも、少しでも実りある実習となるよう、出来る限りのサポートをしていきたいと思ひます。また、自分自身も、3ヶ月間で内科医として必要な能力を身につけられるよう、研鑽を積みたいと思ひます。(嶋田博樹)

平成27年4月～10月の
総合診療科医学生受入人数
★臨床実習：20名
★病院見学プログラムでの
診療科見学：14名
★個別診療科見学：12名



～総合診療科での3か月を振り返って～

総合診療科で3か月研修をして思ったことは、初期研修医は絶対に総合診療科をローテートすべきだということです。総合診療科では他科であるような特別な手技はありませんが、初期研修医にとって最も大切な、どの診療科でもプロブレムとなる発熱や電解質異常など、医師としての基本的な知識を得ることができます。また、総合診療科に入院する患者は、社会的な問題を抱えている方が多く、そのようなプロブレムに対する考え方も学ぶことができます。3か月間、とても充実した日々を過ごすことができました。総合診療科の先生方には大変感謝しております。そして、総合診療科で学んだことを、今後の医療に活かしたいと思ひます。(建部将夫)



写真右から：

建部将夫 (8～10月ローテート)

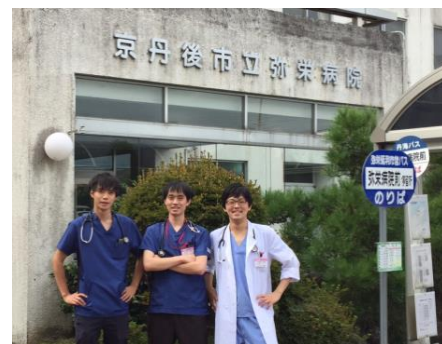
堀内大右 (9～11月ローテート)

嶋田博樹 (10～12月ローテート)

～地域医療研修 京丹後市立弥栄病院～

9月に京丹後市立弥栄病院でお世話になりました。京丹後市全体の高齢化率は32%を超え、診察する患者さんもほとんどが高齢者の方でした。メディカルな観点のみならず、病院を後にしてからのこと、医療と介護の連携の重要性を意識させられることが多く、とても勉強になりました。また、任される範囲も広く、自分の力不足を実感しながらも全力投球することができました。度々暴投してしまいましたが、関係者皆様のおかげで本当に充実した1か月を過ごすことができました。

(2年次 藤野雄三)



地域医療研修は同期の藤野先生とともに、9月に京丹後市立弥栄病院でお世話になりました。使用できる医療資源に限られた中での診療や、診療科の違いなど、中央市民病院での診療とは違った難しさがあり、大変良い経験になりました。また、京丹後市は自然に恵まれていて、休日には海釣りにも挑戦し、見事アジを釣り上げました。食事は何を食べてもおいしく、新鮮な魚介類を堪能できました。研修・プライベート共に充実した良い研修をさせて頂き、本当に感謝しております。

(2年次 吉田一史)

～病院見学プログラム振り返り・打合せを行いました～

先日、病院見学プログラム振り返り・打合せに参加しました。「初期研修医同行」「初期研修医からのミニレクチャー」などを担当する機会があり私自身も楽しんでいますが、よりよいものにするために、スタッフの先生方や事務の方、初期研修医が色々意見を出し合いました。冬以降、さらにパワーアップしたプログラムに出来れば嬉しいです。

私も学生時代にこのプログラムに参加し、当院を受験しようと決めました。最初は知り合いが一人もいなくて緊張しましたが、プログラムを通じて学生同士が仲良くなって、出会って2日目の夜に飲み会をして楽しかったことを覚えています。そしてその時のメンバーのうち5人が、同期として一緒に頑張っています。きっと何かを得られると思います。興味のある方は是非参加して下さい！(2年次 山下裕加)



夏のプログラムでは、研修医同行で大活躍してくれた1年次辻坂先生(写真左から2人目)

臨床研修センター：西岡センター長、瀬尾先生、峯名先生、官澤先生、初期研修医2年次：山下先生、吉田先生、1年次：辻坂先生、事務：福島、北上、安部が参加しました。

～衛生的手洗い実習・縫合実習～

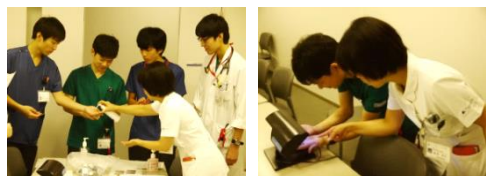
感染管理室主催の衛生的手洗い実習の受講は、初期研修医研修修了認定の要件の一つです。9月下旬～10月上旬、初期研修医全員が受講し、「手指衛生」について改めて学びました。

①アルコール手指消毒・流水と石けんによる手洗いの手技



②グリッターパグを用いた洗い残しの確認

③「手指衛生が必要な5つの場面」など感染対策の知識の確認



10/1(木) 縫合実習 初期研修医6名が参加し、形成外科の先生方にご指導頂きました。



エレガントな縫合を目指して頑張りましたが、まだまだ道のりは長いです。形成外科の先生方、ご指導頂き有難うございました。

(1年次 濱田航平)



形成外科の先生方に丁寧にご指導頂き、とても楽しく練習することができました。臨床に生かせることができるよう頑張ります。

(歯科1年次 小野円香)